



地域支援部だより

〒781-0010 高知県四万十市古津賀 3091

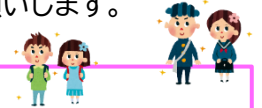
高知県立中村特別支援学校 地域支援部

TEL0880-34-1511 Fax0880-34-1625



R5. 第1号

令和5年度、中村特別支援学校は小学部12名、中学部26名、高等部59名の合計97名の児童生徒でスタートしました。地域支援部は教員4名で下記取組を行ってまいりますので、今年1年、よろしくお願いいたします。



地域支援部の取組

○「教育相談派遣事業」「外部専門家を活用した支援体制充実事業」「特別支援学級等サポート事業」
詳細については県教育委員会特別支援教育課や本校のホームページをご覧ください。



○「外来教育相談」

地域の保・幼・小・中・高等学校の先生や保護者、各関係諸機関の方を対象に、本校において教育相談や学校見学等を行っています。随時お受けしますが、事前に電話連絡をお願いします。

○「学校見学会」

昨年度までは体験入学を実施しておりましたが、今年度より見学会に変更になりました。
小学部(6月15日(木))、中学部(6月14日(水))、高等部(11月16日(木))の予定です。
詳細は本校ホームページをご覧ください。



○「校内研修、学習会等の講演、助言等」

学校等から依頼を受けて、特別支援教育に関する校内研修等へ参加させていただきます。それぞれのニーズに応じた内容を考えたり、講師として出席したりします。

<昨年度行った研修会>

- ・「特別な支援を必要とする子どもたちがいきいきと学べる授業づくり」
- ・「気になる子どもの発達」 等



まずは2割から！！



令和4年12月に発表されていた資料では、現在、通常学級内の約8.8%が学習又は行動面に問題を抱えていると報告されており、学級で指示が通らない、着席しない等の授業妨害行動が見られ、教室内で学習する体制を整えることが必要とされています。その中で、「めあて、フィードバックカード」を活用することで、着席行動を増加させる取組を見つけました。ベースのラインを決めて、チャイムが鳴ったらすぐに帰ってきて座るなどの目標を「めあてカード」に記入させ、自分で毎時間振り返りをさせるというものです。目標だけを与えるより、一緒にフィードバックを行った方が達成人数が増えたというものでした。子どもの感想も、「着席が早くなった」や「すぐに勉強できた」などがありました。

経済活動の分野での「パレートの法則」、別名「80:20の法則」でも、2割の要素が全体の8割の要素を生み出していると言われております。うえで紹介した取組も着席行動が確実にできだしたことで、勉強に早く取りかかれ、教員の指示も通るようになったというものでした。新年度がスタートしましたが、効果的な2割を見つけ、全力を注いでみてはどうでしょうか。8割の効果が期待できるかもしれません。

※通常学級において「めあて&フィードバックカード」による目標設定とフィードバックが着席行動に及ぼす効果(道城・松見 2007)

